

最長保証期間を延長 PB 新製品も準備中



全国マスチック事業協同組合連合会
会長 實松幹次郎

今年は例年になく早い梅雨入りと梅雨明けでした。心も体も十分な準備ができないまま夏が始まりましたので、熱中症対策に奔走された方もおられるのではないのでしょうか。

建設業界を見渡しますと、国土交通省は公共工事の工賃を毎年上げているそうです。今年も6%上がっており、約1600円増えています。

しかし民間の物件に関しては全く効果が表れていないのが現状です。私たち専門工事業者の組合が団結して「国土交通省はこれだけ賃上げを指導しています。建設会社さんも宜しく願います」と陳情していかねばなりません。

最近では都や県単位ではなく各市区町村においても4週8休が公共工事の実施要項に盛り込まれています。内容も厳しく、準備期間・後片付け期間・夏季休暇・年末年始期間を除くと明記されています。現在これを達成している現場は10%程度という話もあります。ルールを守るにはどうしても土日休みにする必要が有りますが、建設業はどうしても作業ができない天候が存在し、計画的に休むのが困難です。塗装業では雨はもちろん、暑すぎても塗料が揮発してしまいますし、寒すぎるとうまく延ばせません。天候に左右される仕事をどのように調整してルール内に収めるか、解決にはもう少し時間が必要なようです。

さて、私が会長を務める全国マスチック事業協同組合連合会のことを紹介させていただきます。当会では毎年6月をセミナーの時期とし、全国に7つある連合会傘下の地域協同組合にて、当会独自の資格であるマスチック仕上士・マスチック仕上性能管理士の更新講習を兼ねたセミナーを開催しています。資格制度により組合員企業の技術向上を図るだけでなく、その時々の特流に合った講師を招いて最新の情報を提供しております。

当会で提供している保証制度については、最長保証期間を見直しました。シリコン樹脂工事は5年から8年に、フッ素樹脂工事は8年から10年に延長しました。長らく最長保証期間は変えていなかったのですが、組合員からの熱い要望もあり、時代に合わせて柔軟に動くこととなりました。ご興味のある組合外の方は入会をご検討頂けますと幸いです。

また、当会では3種のプライベートブランド塗料を組合員に斡旋しておりますが、より組合員のニーズに応えるべく新製品を準備中です。当会の技術施工委員が試験施工をして2年間の経過観察を行い、良いものだと確信しております。ご期待ください。

紙面をお借りして恐縮ですが、当会は9月から移転し住所・電話番号・FAX番号が変わる運びとなりました。事務所スタッフも一新し若返ります。新しい事務所で新しいスタッフと共に、組合員の皆様、ひいては塗装業界全体のお役に立てるよう頑張っていく所存です。

最後に、大変な暑さですので皆様のご健康を祈念し、夏の挨拶とさせていただきます。

今後とも当会をよろしく願い申し上げます。